自民県連大会

山形市長選へ陣容固め

遠藤氏が会長続投　政調会長には田沢氏

自民党県連大会が21日、山形市のパレスグランデールで開かれ、遠藤利明衆院議員(65)＝県1区＝の3期目の会長続投が正式に決まり、新幹事長に金沢忠一県議(65)＝山形市区＝が就いた。新人の佐藤孝弘氏(39)＝団体役員、同市宮町3丁目＝を擁立して臨む山形市長選（9月6日告示、同13日投開票）に向け、新役員や新ポストを配置して陣容を固めた。

＝1面に関連記事

新体制を整え、本県の発展を誓い合った自民党県連大会＝山形市・パレスグランデール

会長は2期2年務めるのが慣例だが、遠藤会長は加藤紘一元党幹事長以来となる3期目に入る。副会長を含む役員は会長の指名事項。金沢新幹事長のほか、政調会長に田沢伸一県議(65)＝東田川郡区、幹事長代理に加賀正和県議(47)＝尾花沢市・北村山郡区＝が新たに就いた。さらに新ポストの政調会長代理に奥山誠治県議(55)＝山形市区＝が就任した。副会長の平弘造県議(68)＝長井市区＝と総務会長の坂本貴美雄県議(67)＝新庄市区＝は留任した。

人選に当たった遠藤会長は大会後の記者会見で、山形市長選や来夏の参院選の候補者選定、党勢拡大などを挙げ、「今年の選挙の最大の課題は山形市長選で、党、県連挙げて取り組んでいく覚悟だ。最大の力を発揮し、市長選、参院選を取り仕切ることができる最適な人選をしたと思う」と説明した。

大会には鈴木憲和、加藤鮎子両衆院議員、岸宏一、大沼瑞穂両参院議員、県議、支部代表者と、来賓の吉村美栄子知事、市川昭男山形市長ら各市町村長、公明党県本部の菊池文昭代表ら約600人が出席した。

「県都の市長奪還」を重要視

（解説）

自民党県連は3期目の会長に就いた遠藤利明衆院議員の下、新体制を構築した。「県都の市長奪還」を最大のテーマとし、党の掲げる地方創生の実現に県連の威信を懸ける。

山形市長選は年内選挙のヤマ場だが、過去50年は非自民系が勝利。この奪還戦に向け、金沢幹事長、奥山政調会長代理、大内理加女性局長といずれも山形市区の県議を役員ポストに起用し、布陣を厚くした。会見で遠藤会長は「地方創生の施策には党が責任を持って、一体で行動できる市長を擁立し、全力で取り組んでいく」と述べ、大会では谷垣禎一党幹事長と共に市長選の重要性をアピールした。

遠藤会長は昨年の党勢を「復調」と捉え、現在は先の衆院選や統一地方選の結果から、「安定」と表現する。ただ公募に至っていない来夏の参院選の見通しや、地方に見えていないアベノミクスの効果も踏まえれば、「まだまだ努力が必要だ」というのが実態だろう。大会で「多様な考えで地域づくりをしなければならない」と強調した会長の手綱さばきが、さらに注目されることになりそうだ。

（報道部・進藤和美）

温暖化防止へ　県が活動推進員募る

地球温暖化対策地域協議会に参加し、国や県の各種イベントで活動する。また町内会の会合や研修、学校の授業で講師を務め、効果的な取り組みを紹介する。今年5月末現在、912人が推進員として活動している。

募集人数は20人程度付される。実際の活動時期は12月以降になる見込みで、任期は2017年9月30日まで。

申込書は県のホームページを通じて入手できる。問い合わせは県環境企画課地球温暖化対策担当023（630）2336。

みとり対応に「援助士」

横浜の在宅医ら　協会設立し養成

高齢化に伴い亡くなる人の数が増えていく中、自宅や施設で穏やかな最期を迎えられるよう、横浜市の在宅医らが「みとり」に対応できる人材の育成を目的に「エンドオブライフ・ケア協会」（東京）を設立した。

約1500人を在宅でみとった経験を持つ「めぐみ在宅クリニック」（横浜市）の小沢竹俊院長が中心となり、7月から医療や介護従事者向けに2日間の養成講座を開く。初回の講座は都内で開催予定。修了後、実際に患者に対応し、リポートを提出すれば「エンドオブライフ・ケア援助士」として認定する。

協会理事に就いた小沢院長は、終末期の患者の心身の痛みを和らげ、苦しみを受け止める方法を伝える講座を昨年から同クリニックで開催。「在宅でみとりができる人材が全国に必要」と協会設立を決めた。理事には「平穏死」を提唱している兵庫県の長尾和宏医師も名を連ねた。

小沢院長は「死にゆく患者を見て動揺したり、無力感に苦しんだりする医師や介護職は多い。本人や家族を支える方法を学んでほしい」と話している。問い合わせは同協会（メールアドレス、info@endoflifecare.or.jp）まで。

自民・谷垣幹事長講演

安保法案審議「会期とって」

自民党の谷垣禎一幹事長は21日、山形市のパレスグランデールで講演し、今国会で審議中の安全保障関連法案について、「国民に納得してもらい、日本の考えを世界に明らかにしなければならない。そのために会期をとって、平和安全法制を仕上げたい」と理解を求めた＝写真。

谷垣幹事長は、日本が戦争をせずに戦後70年を迎える理由として、「日本人は戦争を二度としてはいけないと一生懸命、外交努力をした。しかしそれだけで平和と安全が守れたかというとそうではなかったと思う」と述べて▽日米安全保障条約▽自衛隊―の存在を挙げた上で、「抑止として『日本の平和を守るぞ』という構えを示したと思う。昭和30年に抑止力が必要だと思った人が自民党をつくり、非武装中立を唱（とな）えた人が日本社会党をつくった。過去、ずっとそういう議論をしている」と説明した。

さらに、「抑止もやりすぎれば周辺諸国の警戒を生むのは当然で、足りなければやられてしまうかもしれない。どこが一番いいかという議論をしなければならないが、今の国会はなかなかこうならない。（中国や米国の情勢から）日本の抑止にあまり隙があってはならないとの思いから今回の法制度を出させてもらった」と語り、「国会で十分議論し、国民に納得してもらわなければならない」と国会会期延長に意欲をみせた。

四季の社

星あまた頭上に降らせ夏至の浜

金久美智子

本日夏至。北半球では一年でもっとも長い昼をむかえる。日本では冬至とくらべ平均して5時間ばかり太陽の出ている時間が長い。ようやく日が暮れた空には待ちくたびれたような星が輝く。「あまた」には無数の星の存在とともに、万象の神秘に胸打たれる様子が込められる。同じような日が繰り返されながら、同じ日はひとつとしてない。星隆るなかで、しずかに時が刻まれていることを実感する。「氷室」主宰。

土肥あき子（俳人）

芳賀神心堂
〈診療時間〉予約制
月・火・木・金／午前
土曜日／午前
〈休診日〉水曜日
天童市田鶴町四丁
☎65

整形外科・リハビリテーション科
くのもと整形外科クリニック
日本整形外科学会認定 整形外科専門医
院長 鈴木 聡

頭痛・めまい・物忘れ・脳ドック・MRI
BIC ブレインクリニック
院長 妻沼

内科・循環器内科・消化器内科
まつだクリニック
イオン山形北店
ブックオフ

森整

診療案内
◆診療科目／耳鼻咽喉科
◆診療時間
月～金曜日…午前／9:00～12:30
午後／2:30～ 6:00
土曜日……午前／9:00～12:00
午後／2:00～ 5:00

南原